



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 クラレ

コード番号 3405 URL <http://www.kuraray.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 文大

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 IR・広報部長 (氏名) 島本 智之

四半期報告書提出予定日 平成24年11月6日 配当支払開始予定日

TEL 03-6701-1071

平成24年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	180,888	△2.6	23,899	△18.6	21,884	△24.5	12,745	△26.0
24年3月期第2四半期	185,635	2.7	29,364	15.3	28,981	15.9	17,214	23.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 12,463百万円 (△40.4%) 24年3月期第2四半期 20,907百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	36.57	36.53
24年3月期第2四半期	49.43	49.35

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第2四半期	525,543		373,122		69.7
24年3月期	523,247		366,314		68.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 366,457百万円 24年3月期 360,018百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	16.00	—	17.00	33.00
25年3月期	—	18.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	380,000	3.0	52,000	△5.0	50,500	△6.4	30,000	△4.7	86.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しています。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	382,863,603 株	24年3月期	382,863,603 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	34,316,668 株	24年3月期	34,506,810 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	348,490,740 株	24年3月期2Q	348,284,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(2)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(平成24年11月1日開催予定の四半期決算説明会関連資料の入手方法)

決算補足説明資料および説明会の動画を、開催後、可及的速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半期連結財務諸表	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	6
	四半期連結包括利益計算書	7
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4)	継続企業の前提に関する注記	8
(5)	セグメント情報	9
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)の経営環境は、金融危機を背景とする欧州経済の停滞、中国をはじめとする新興国の成長ペース鈍化により、全体的に需要に力強さを欠く状況が続きました。日本経済も円高の継続により厳しい状況が続きました。

このような状況においても、当社グループは持続的な成長を実現させるため、今年度よりスタートさせた新中期経営計画『GS-III』に掲げた主要経営戦略に基づき、コア事業の世界戦略加速のための大型投資やM&Aを実行するとともに、水・環境、エネルギー、光学・電子の各領域における次世代を担う事業の開発を積極的に推進しています。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年同期比4,747百万円(2.6%)減の180,888百万円、営業利益は5,465百万円(18.6%)減の23,899百万円、経常利益は7,096百万円(24.5%)減の21,884百万円、四半期純利益は4,469百万円(26.0%)減の12,745百万円と減収減益になりました。

#### セグメント別の状況

##### a. 樹脂

欧州を中心とする世界的な景気減速による影響を受け、売上高は75,113百万円(前年同期比3.1%減)、営業利益は24,410百万円(同5.8%減)となりました。

① ポパール樹脂、PVBフィルムは、世界的な景気減速を背景に需要が低迷しました。光学用ポパールフィルムは、期前半の液晶パネルの在庫調整の影響を受けたものの、期後半に需要が回復し、前年同期比ほぼ横ばいで推移しました。

なお、事業拡大戦略の一環として、以下の大型投資決定およびM&Aを実行しました。

- 1) ポパール樹脂の世界的需要拡大に対応するための米国テキサス州における生産設備新設(年産40,000トン、平成26年9月完工予定)を決定。
- 2) 米国における洗濯および食器洗浄用洗剤包装等、水溶性ポパールフィルムのリーディングカンパニーであるMonoSol社を買収。

② EVOH樹脂<エパール>は、食品用途は伸び悩みましたが、自動車用途が堅調に推移しました。

##### b. 化学品

一部の事業で新規用途への拡大が進みましたが、全般的に景気減速による影響を受けました。その結果、売上高は38,930百万円(前年同期は38,931百万円)、営業利益は2,076百万円(前年同期比59.7%減)となりました。

- ① メタクリル樹脂は、導光板向け成形材料が堅調に推移しましたが、全体的に国内市況悪化および原燃料上昇の影響を受けました。
- ② イソブレン関連では、液状ゴムが拡大したものの、熱可塑性エラストマー<セプトン>、ファインケミカルは、欧州・アジアの景況悪化および為替の影響を受けました。
- ③ 耐熱性ポリアミド樹脂<ジェネスタ>は、LED反射板・コネクタ用途が堅調に推移し、自動車用途も拡大しました。
- ④ メディカルは、歯科材料が堅調に推移しました。

##### c. 繊維

全般に景況悪化の影響を受けたものの、売上高は27,865百万円(前年同期比5.7%減)、営業利益は759百万円(同23.3%増)となりました。

- ① ビニロンは、アスベスト代替のFRC(繊維補強セメント)用途が欧州市場低迷の影響を受けました。高強度繊維<ベクトラン>は用途開拓が進みました。
- ② 人工皮革<クラリーノ>は、ランドセル用途が好調に推移しましたが、靴用途の需要が低調でした。なお、当事業は環境対応型新プロセスへの集約を推進するなど、構造改善を進めています。
- ③ 不織布<クラフレックス>は、業務用カウンタークロスが輸入品との競合や国内市場低迷の影響で伸び悩みました。

##### d. トレーディング

ポリエステルをはじめとする繊維関連事業は堅調に推移しましたが、樹脂・化学品関連の輸出販売が伸び悩みました。その結果、売上高は54,244百万円(前年同期比4.5%減)、営業利益は1,619百万円(同7.6%減)となりました。

e. その他

活性炭事業は、浄水用途などが伸び悩みましたが、エネルギー関連用途は堅調に推移しました。活性炭以外の事業についても総じて景況悪化の影響を受け、売上高は31,650百万円(前年同期比6.1%減)、営業利益は2,175百万円(同27.1%減)となりました。

なお、リチウムイオン二次電池向けハードカーボン事業では株式会社クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパンへ資本参加するとともに、同社との合弁による植物系ハードカーボンの生産会社を設立しました。

(2)連結業績予想に関する定性的情報

世界的な景気低迷の長期化を踏まえ、通期の連結業績予想を以下のとおり修正します。

平成25年3月期 通期連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A) (平成24年4月26日)	400,000	60,000	58,500	35,000	100.47
今回修正予想(B)	380,000	52,000	50,500	30,000	86.07
増減額(B-A)	△20,000	△8,000	△8,000	△5,000	
増減率(%)	△5.0	△13.3	△13.7	△14.3	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	368,975	54,733	53,940	31,469	90.35

第3四半期以降の平均為替は米ドル80円、ユーロ100円、国産ナフサ価格54千円/KLを前提としています。

<ご参考>平成25年3月期 セグメント別業績予想数値

(単位:億円)

	売上高	営業利益
樹脂	1,580	510
化学品	820	70
繊維	580	15
トレーディング	1,120	35
その他	670	40
調整額	△970	△150
合計	3,800	520

注:上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,464	48,336
受取手形及び売掛金	80,627	80,112
有価証券	71,995	14,981
商品及び製品	50,361	52,078
仕掛品	9,528	10,480
原材料及び貯蔵品	14,542	14,488
繰延税金資産	5,560	5,456
その他	5,783	7,855
貸倒引当金	△781	△708
流動資産合計	269,083	233,081
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,536	38,035
機械装置及び運搬具（純額）	71,578	76,927
土地	19,971	20,210
建設仮勘定	23,060	26,527
その他（純額）	3,730	3,984
有形固定資産合計	152,877	165,685
無形固定資産		
のれん	11,538	38,426
その他	2,465	3,226
無形固定資産合計	14,004	41,652
投資その他の資産		
投資有価証券	70,029	68,684
長期貸付金	572	684
繰延税金資産	4,688	4,347
前払年金費用	5,822	5,579
その他	6,262	5,902
貸倒引当金	△93	△75
投資その他の資産合計	87,282	85,123
固定資産合計	254,163	292,461
資産合計	523,247	525,543

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,945	31,517
短期借入金	13,781	7,553
未払法人税等	9,075	6,613
賞与引当金	6,657	6,320
災害損失引当金	68	—
その他の引当金	59	135
その他	19,095	21,780
流動負債合計	81,684	73,921
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	41,981	42,125
繰延税金負債	4,531	5,480
退職給付引当金	5,617	5,799
役員退職慰労引当金	194	155
環境対策引当金	1,106	1,050
資産除去債務	2,224	2,203
その他	9,593	11,684
固定負債合計	75,248	78,499
負債合計	156,933	152,420
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,147	87,147
利益剰余金	246,733	253,515
自己株式	△40,732	△40,508
株主資本合計	382,103	389,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,763	2,589
繰延ヘッジ損益	△32	△22
為替換算調整勘定	△24,419	△24,814
年金負債調整額	△396	△404
その他の包括利益累計額合計	△22,084	△22,651
新株予約権	1,151	1,260
少数株主持分	5,143	5,404
純資産合計	366,314	373,122
負債純資産合計	523,247	525,543

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	185,635	180,888
売上原価	122,874	122,560
売上総利益	62,760	58,328
販売費及び一般管理費		
販売費	9,189	9,255
一般管理費	24,206	25,172
販売費及び一般管理費合計	33,396	34,428
営業利益	29,364	23,899
営業外収益		
受取利息	199	190
受取配当金	929	1,021
持分法による投資利益	8	0
その他	503	451
営業外収益合計	1,640	1,664
営業外費用		
支払利息	532	494
為替差損	184	1,368
その他	1,307	1,816
営業外費用合計	2,024	3,679
経常利益	28,981	21,884
特別利益		
持分変動利益	845	—
特別利益合計	845	—
特別損失		
買収関連費用	—	748
投資有価証券評価損	539	562
固定資産廃棄損	235	120
環境対策引当金繰入額	—	111
災害損失	929	—
災害損失引当金繰入額	60	—
減損損失	128	—
特別損失合計	1,893	1,544
税金等調整前四半期純利益	27,933	20,340
法人税、住民税及び事業税	9,978	6,766
法人税等調整額	444	543
法人税等合計	10,423	7,309
少数株主損益調整前四半期純利益	17,509	13,030
少数株主利益	295	285
四半期純利益	17,214	12,745

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,509	13,030
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	△174
繰延ヘッジ損益	△14	10
為替換算調整勘定	3,374	△394
年金負債調整額	2	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	3,397	△567
四半期包括利益	20,907	12,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,612	12,178
少数株主に係る四半期包括利益	294	284

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	27,933	20,340
減価償却費	14,732	13,829
減損損失	128	—
環境対策引当金繰入額	—	111
災害損失引当金繰入額	60	—
固定資産廃棄損	235	120
買収関連費用	—	748
投資有価証券評価損益 (△は益)	539	562
持分変動損益 (△は益)	△845	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,098	1,489
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,981	△2,183
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,927	△1,950
その他	469	249
小計	37,099	33,318
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△10,082	△9,192
その他	646	685
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,664	24,811
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	3,208	606
有価証券の純増減額 (△は増加)	4,988	49,989
有形及び無形固定資産の取得による支出	△15,827	△19,390
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△104	△31,051
その他	△1,187	△474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,921	△319
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△166	△4,642
長期借入金の返済による支出	△607	△2,922
配当金の支払額	△4,875	△5,922
その他	△170	126
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,819	△13,359
現金及び現金同等物に係る換算差額	248	△652
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	13,171	10,480
現金及び現金同等物の期首残高	29,423	34,811
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	4	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,600	45,291

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I. 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	樹脂	化学品	繊維	トレー ディング	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	62,185	24,435	21,225	54,870	162,717	22,917	185,635	—	185,635
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	15,354	14,495	8,335	1,924	40,109	10,795	50,905	△50,905	—
計	77,540	38,931	29,560	56,795	202,827	33,713	236,540	△50,905	185,635
セグメント利益	25,910	5,156	616	1,752	33,435	2,984	36,419	△7,055	29,364

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△7,055百万円には、セグメント間取引消去△298百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△6,756百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II. 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	樹脂	化学品	繊維	トレー ディング	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	60,544	24,683	19,676	52,479	157,383	23,504	180,888	—	180,888
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	14,569	14,246	8,189	1,765	38,770	8,145	46,916	△46,916	—
計	75,113	38,930	27,865	54,244	196,153	31,650	227,804	△46,916	180,888
セグメント利益	24,410	2,076	759	1,619	28,866	2,175	31,041	△7,142	23,899

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△7,142百万円には、セグメント間取引消去△205百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△6,936百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しています。その概要は以下のとおりです。

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるKuraray Holdings U.S.A., INC. がMONOSOL HOLDINGS, INC. の株式のすべてを取得したことにより、前連結会計年度末から「樹脂」セグメントの資産が増加しています。当該株式取得による増加額は37,833百万円(477,033千USD)です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「樹脂」セグメントにおいて、MonoSol社に係わる企業結合に伴い、当第2四半期連結累計期間にのれんが28,018百万円(353,275千USD)発生しています。なお、のれんの金額は取得原価の配分等が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しています。これによる各セグメント利益に与える影響は軽微です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。